

奈良市民憲章

奈良は日本のふるさと。美しい自然とすぐれた文化遺産を守り、古都に住むものにふさわしい自覚と誇りに生きましよう。奈良は未来をひらくまち。青少年は健康で、はつらつと、正しく強い人間にならましよう。奈良は善意のまち。みんなのしあわせのために、おたがいに助けあいましよう。奈良は清静で平和なまち。旅行者にはあたたかく親切に接しましよう。奈良はのびのびくまち。市民の創意で、伝統と調和のとれた新しい住みよいまちづくりをしましよう。

奈良市民だより

No. 507

市民のうごき

2月15日現在(前月比増)

人口 312,739人(346)

男 151,662(169)

女 161,077(177)

世帯数 100,232(48)

ボランティア活動に参加しませんか

愛の灯を秘かに掲げてー参加には決意ときっかけが

あなたのランプの灯をもう少し高くかかげてください。見えない人びとの行く手を照らすために。

目も、耳も、口も不自由という三重苦を背負いながらも社会事業家として活躍したへ

レン・ケラー女史はこう書き残しています。ケラー女史のいう「ランプの灯」がどんなに小さくても、小さくてもいい、一人ひとりが「灯」をともしつづけていくことがボランティアへの第一歩だといえましよう。

人間同士のきずな「から出発しているのです。障害や悩みを持つ人、これから伸びようとする若い芽に対する理解と関心を深め、みんなが参加し、みんなが暮らせる社会づくりを進めるために、私たちが社会の一員として、なにかできるものがあるはずなんです。

ある主婦が買いたった先のスーパーで知りあつて親しくなった女性の家に遊びに出かけました。その女性の家には脳性まひの子もがいて、買

いたものひとつが容易にできないことを知ったその主婦は、その女性の買いたった手伝いや留守番をひき受けるようになりました。また、ある母親が子どもと図書館の児童図書室へ行きま

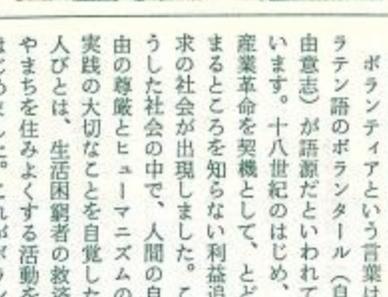
たということ。このような話はどこにでもあることです。そして、これらは立派なボランティア活動なのです。やさしい心づかいの気持ちさえあれば、だれでも、いつでも、どこでもできるものです。「人間だれもが持っている自然な心づかい」がボランティアの心情です。

世知辛い経済社会の中に育った福祉奉仕の精神

昭和三十年代になると、老人・障害者・母子家庭などに対する福祉関係団体の結成がすすみ、全国的に社会福祉施設が増設され、それとともにボランティアや、福祉関係団体を援助するボランティア、子ども健全育成をめざすボランティアなどが増えま

昭和四十年代はボランティア活動が本格的に普及拡大した時代です。経済優先の政策に反発し、物質一辺倒の思潮が反省されるようになって、他方人間性の回復、温かいコミュニティの形成、福祉社会の実現などが望まれるようになり、その中でボラン

ア活動の重要性が認識されてきました。今日の社会でも、なお「利益社会」と呼ばれるように、人間は利害や打算によって動く傾向が強く続いています。そのような世知辛い世の中だけに、ごく普通の人の、人間性に基づくごく自然な行動が、より多く自然に結集することが絶大な潤滑油となつて、住みよい人間社会が生まれ得るというわけ



筋ジストロフィーの青年の介助をするボランティアたち

ボランティアという言葉はラテン語のボランタール(自由意志)が語源だといわれています。十八世紀のはじめ、産業革命を契機として、とどまることを知らない利益追求の社会が出現しました。こうした社会の中で、人間の自由の尊厳とヒューマンイズムの実践の大切なことを自覚した人びとは、生活困窮者の救済やまちを住みよくする活動をはじめました。これがボラン

ボランティア活動をしてみようと思つている人は意外に多いのですが、きっかけがなかなかないんじゃないかしら。ご近所の方や、お友だちといっしょにはじめられると

新年度予算総額九百十一億余円

三月定例市議会三日にひらく

三月定例市議会は三月三日に開会されます。この議会で提案される新年度予算案では、一般会計が六百六億円で、前年度当初予算の十一・八%の増となっております。下水道事業費、国民健康保険など十二の特別会計は計二百四十四億九千九百二十四万円、また水道事業など公営企業三会計では計九十四億七千八百五十三万五千円となつていま

これらを合計した予算総額は九百一十一億二千七百七十七万五千円となり、前年度当初予算に対して十五・〇%増となっております。

提出案件 今回の市議会に提出される予定の案件はつぎのとおりです。【五十七年度関係】報告Ⅱ市長専決処分報告

提出案件

議案Ⅱ市長専決処分の報告並びに承認Ⅲ市一般会計補正予算Ⅳ財産の取得Ⅴ市水道事業会計補正予算

【五十八年度関係】報告Ⅱ株式会社奈良市清美公社の事業計画Ⅲ財団法人奈良市建設公社の事業計画Ⅳ財団法人奈良市土地開発公社の事業計画Ⅴ財団法人奈良市学校建設公社の事業計画Ⅵ財団法人奈良市文化体育振興センターの事業計画

議案Ⅱ市一般会計予算と下水道事業費など十二の特別会計予算Ⅲ市宅地造成事業費特別会計予算Ⅳ市水道事業会計予算Ⅴ市簡易水道事業会計予算Ⅵ市附属機関設置条例の改正Ⅶ市職員定数条例の改正Ⅷ市立保育所条例の改正Ⅷ市立児童館条例の制定Ⅸ市老人福祉条例の改正Ⅹ市国民健康保険条例の一部改正

市公民館条例の一部改正Ⅹ市古市集会所条例の制定Ⅺ市道路占用料に関する条例の一部改正Ⅻ奈良都市計画下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正Ⅼ市水洗便所設備費助成に関する条例の一部改



わかくさ国体 成功させよう



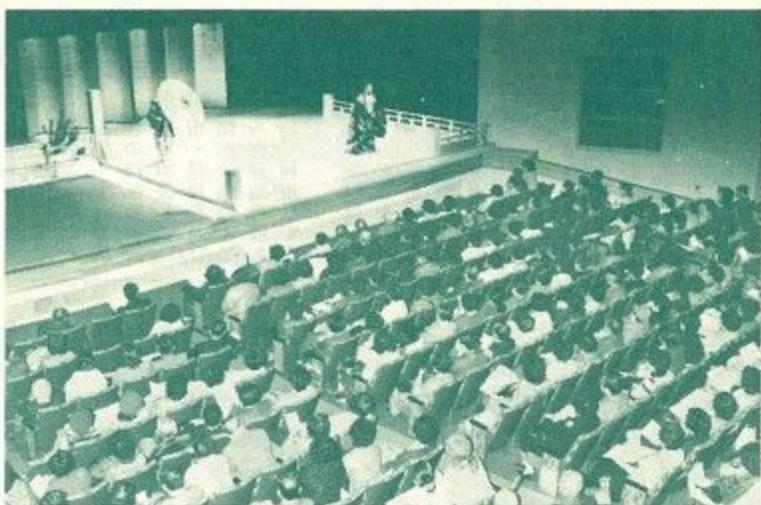
早春の大和路

一味違った奈良観光

東北・関東・中部から五五〇人

遠くから訪れる観光客に、いままでとは一味違った奈良観光をしてみよう、市と市観光協会が企画した「早春の大和路・奈良カルチャーツアー」の第一回が二月十八日に市史跡文化センターなどを会場に行われました。

このツアーは、観光客に奈良の良さを再確認してもらい、閑散期の冬の奈良へ観光客を誘致しようという趣旨で「歴史の素顔に出逢いたい」「末広がり」、春日舞楽「蘭



市史跡文化センターで狂言を鑑賞するカルチャーツアーの一行

600人参加

市地婦連の婦人大会

婦人の社会参加、男女平等を願い、さまざまな活動を続ける市地域婦人団体連絡協議会(杉本玉子会長)が、市教育委員

市婦人大会(市史跡文化センター)が開かれました。この大会は、婦人一人ひとりが主体性を確立し、実践することが重要となってきた現代社会における婦人のあり方を考えようと毎年開かれてい

るもので、今年で十二回目。杉本会長、木山市長のあいさつと大阪府社会教育委員の金森アキさんの「婦人団体の今後のあり方」と題した記念講演があり、参加したおよそ六百人の婦人たちは熱心に聴講、終盤をむかえた国際婦人年に思いをはせ、決意を新たにしていきました。



このあと木山市長は「愛情一筋にこまめな養育されてきた母子家庭のご苦労は並大抵ではない。これからもその愛情をもって、母子心を合わせて未来を切り開いていって下さい。それへの協力は惜しまない」と述べた。これは、中央公民館はじめ市内の十五公民館の各講座で



「ふれあいの輪をひろげよう」をテーマに、五十七年度の市公民館学習発表会が二月十二日市史跡文化センターで開催されました。これは、中央公民館はじめ市内の十五公民館の各講座で

わったが、余裕たっぷりのゴールインで「学校の体育の時間に走っているが、このような大会は初参加です。思っていたより楽に走れました。来年もぜひ走りたい」とニコニコ話っていました。各部三位までの入賞者はつぎのとおりです。(敬称略、一部は一位のみ) 【一部】①飯屋通明(電電近畿) ②上武豊彦(奈良A.C.) ③井ノ上益秀(大南大) 【二部】①十歳代Ⅱ真藤賢一(添上高) ②二十歳代Ⅱ江藤修二(関西電力) ③三十歳代Ⅱ広田政雄(奈良A.C.) ④四十歳代Ⅱ池部勝美(市民走ろう会) ⑤五十歳代Ⅱ鳥居竹治 ⑥六十歳代Ⅱ中富兵衛(泉自治会) ⑦女子十歳代Ⅱ亀井智子(一条高) ⑧女子二十歳代Ⅱ上垣和子(奈良交通) ⑨女子三十歳代Ⅱ西口弘子(市民走ろう会) 【中学男子駅伝】①富雄A ②伏見A ③登美ヶ丘B 【中学女子】①岡本乃利子(伏見) ②横山礼子(二名) ③上平智子(伏見)

お母さん

奈良市母子福祉大会がことしも二月十三日、法連町の「老春の家」で開かれました。この大会は、今年三月に義務教育を終了する子どもと今年成人する子どもがいる母子家庭の母と子を招いて励まし、お母さんの今までの苦労をねぎらおうと開かれたもの。

大会には木山弘市長、岡田清三郎市議会議長、責藤ミサエ梅華会会長、辻本キミ県母子福祉連合会長、対象の母子家庭六十五世帯百三人、それに梅華会役員六百人が出席しました。喜びの子どもたちには木山市長が自ら「立志」と筆をふるったアルバム、またお母さん方には記念品のポットが木山市長から手渡されました。

「お母さん、ありがとうございます！ 成人の子が涙の謝辞」 母子福祉大会に七百人

室内の東山魁夷画伯の筆に成る障壁画を鑑賞して賛嘆の声をあげ、また薬師寺では高田好胤管長の巧みな法話を傾聴するなど、奈良ならではの味わいを体験しました。一日のコースが終わりに近づくと「来年はどんな企画ですか」と早くも来年を心待ちにする声まで漏れるなど、初めて試みとしては大きな成果を挙げたカルチャーツアーとなりました。二回目は三月五日の予定となっています。

「お母さん、ありがとうございます！ 成人の子が涙の謝辞」 母子福祉大会に七百人

「お母さん、ありがとうございます！ 成人の子が涙の謝辞」 母子福祉大会に七百人

「お母さん、ありがとうございます！ 成人の子が涙の謝辞」 母子福祉大会に七百人

ふれあいの輪ひろげて

「お母さん、ありがとうございます！ 成人の子が涙の謝辞」 母子福祉大会に七百人

熱心に受講

市では、点訳奉仕員養成講習会を二月十五日に市役所第一研修室で開催しました。これは、点訳法の講習を市民を対象として開くことにより、点訳を通じて障害者への理解を深めるとともに、これらの人に点訳奉仕員になってもらい、障害者福祉の増進を図ろうというものです。

市では、点訳奉仕員養成講習会を二月十五日に市役所第一研修室で開催しました。これは、点訳法の講習を市民を対象として開くことにより、点訳を通じて障害者への理解を深めるとともに、これらの人に点訳奉仕員になってもらい、障害者福祉の増進を図ろうというものです。

市では、点訳奉仕員養成講習会を二月十五日に市役所第一研修室で開催しました。これは、点訳法の講習を市民を対象として開くことにより、点訳を通じて障害者への理解を深めるとともに、これらの人に点訳奉仕員になってもらい、障害者福祉の増進を図ろうというものです。

市では、点訳奉仕員養成講習会を二月十五日に市役所第一研修室で開催しました。これは、点訳法の講習を市民を対象として開くことにより、点訳を通じて障害者への理解を深めるとともに、これらの人に点訳奉仕員になってもらい、障害者福祉の増進を図ろうというものです。

市では、点訳奉仕員養成講習会を二月十五日に市役所第一研修室で開催しました。これは、点訳法の講習を市民を対象として開くことにより、点訳を通じて障害者への理解を深めるとともに、これらの人に点訳奉仕員になってもらい、障害者福祉の増進を図ろうというものです。

市では、点訳奉仕員養成講習会を二月十五日に市役所第一研修室で開催しました。これは、点訳法の講習を市民を対象として開くことにより、点訳を通じて障害者への理解を深めるとともに、これらの人に点訳奉仕員になってもらい、障害者福祉の増進を図ろうというものです。

市では、点訳奉仕員養成講習会を二月十五日に市役所第一研修室で開催しました。これは、点訳法の講習を市民を対象として開くことにより、点訳を通じて障害者への理解を深めるとともに、これらの人に点訳奉仕員になってもらい、障害者福祉の増進を図ろうというものです。

早春の野外をひた走る

史上最高の千二百人が参加

「建国記念の日」の二月十一日、恒例の奈良市民マラソン大会が市教育委員会、市体育協会などの主催で行われ、市中央体育館前からドリムランド前を経て外環状線と続くコースに千二百人の参加選手が健脚を競いました。

このマラソン大会は一部(10歳代)、二部(5歳代)、中学男子駅伝の部(10歳代、五区)、中学女子の部(3歳代)に分かれ、午前十時、中学駅伝の部のスタートを皮切りに、一五分おきに一部、二部男子、同女子、中学女子各部が順次スタート。コース

選手の中には県立盲学校に通う内藤恒夫さん(19歳、富雄北一丁目)も伴走者の谷本利雄教諭と一部10歳代に挑戦、途中5歳の折りかえしを10歳の折りかえしと間違ったハプニングがあった。5歳完走に終

他のめいわくになる青空駐車はやめまじょう

市・市教育委員会など

の後は三月二十日に行

われる「奈良女子ロー

ドレール」のため、コース全

区間にわたってつぎのよう

に交通規制が行われます。

【規制区間】東大寺南大門前

奈良教育大学前―鹿野園病

